

# ドリームガイ 本部だより

NO.8

2023年11月30日

## 持続的・継続的な支援体制の構築

コロナ対応も落ち着きが見られるとともに、法人の経営も回復傾向の兆しが見えはじめています。10月に新たな人事体制となったことを契機に、新たな視点で事業を見直していくことが、持続的で継続的な支援体制の構築に重要です。

11月20日に法人事業再生プロジェクトの会議をもちました。プロジェクトには、曾根理事、下里理事、田中理事、滝乃川学園の本多氏にご出席いただき、各事業所の運営の安定化に向けてご意見をいただきました。各事業所の固有の課題はあるものの、法人全体で共通するものは、特定の職員のマンパワーによって事業運営が支えられている傾向があり、組織として対応されていないとのご指摘をいただいています。

利用者の住み慣れた地域での支援を継続的・持続的に実施していくためにも、部門長を要にして組織として事業運営が実施していけるよう事業体制を検討していきます。



## 東京都の実地検査が実施されました

11月22日に工房ガイ、24日に法人本部の実地検査がありました。実地検査では、施設の安全管理をはじめ、会計等についての指導・指摘がありました。それらの指導事項については、改善等の内容がまとまりましたら、本部だよりでもお知らせいたします。

### JR 高架に伴う工房ガイの在り方についての検討を本格スタートします

工房ガイは、2027年度末頃までに道路拡張のため、工房の敷地の一部の提供が求められています。開発の公社担当者との話し合いを重ねておりますが、法人にとって良い条件とは言えない状況です。道路拡張の補償金だけでは、工房の運営が困難な状況になりかねません。工房の今後の在り方が利用者の皆さんによりよいものとなるよう検討を本格的にすすめていきます。